

# 陸水グループ活動報告

花里 孝幸\*\*\*\* 君島 祥\*\*\*\*\*

## 1 今年度の活動

陸水グループ2年目の活動は、当初信州大学で行っている諏訪湖のミジンコ調査に便乗して学習を深めることを検討したが、まだ大学や研究機関で取り扱われていない水田のミジンコを調査し、水田に水を張ってから水を抜くまでの間、ミジンコから見た水中の生態解明を市民研究員の手で進めてもらうことにした。指導は信州大学大学院博士課程の花里研究室、君島 祥氏がすることにした。

採集は水田に水を張る5月から水を抜く9月初めまで毎週1回、午前10時から午後2時までの間に定量的に行った。採集者は市民研究員の当番制とし、2人ひと組となって行った。採集場所は市民研究員の小池春夫氏所有の水田AとB、2か所を使わせてもらうことにした。採集はAの水田で定点1, 2、Bの水田で定点1, 2、合計4地点を定めて行った。採集したサンプルはシュガーホルマリン入りの保存瓶に保存し、1か月に1回、市民研究員が信州大学山岳科学総合研究所の設備を使い同定と種の数を記録した。その結果、今まであまり知られていなかった水田の水の中の様子が明らかになった。別稿にその調査報告を掲載しているので参考にしていきたい。

ただ、この1年の結果だけでは確かなことは言えないので、できれば今後この活動を継続してデータの蓄積をし、水田の生態系をさらに明らかにすることが望ましい。

水田調査のまとめができた11月以降は、研究所で昨年同様に生態系についての学習会を開き、学習を深めた。2月、3月は活動展の準備及びイベントデーでワークショップを行った。

## 2 活動の記録

<採集日>

5月20日(火)、5月27日(火)、6月3日(火)、6月10日(火)、6月18日(水)、6月25日(水)、7月1日(火)、7月8日(火)、7月15日(火)、7月23日(火)、7月29日(火)、8月5日(火)、8月13日(水)、8月20日(水)、8月26日(火)、9月2日(火)

<同定、集計日>

6月18日(水)、7月23日(水)、8月26日(火)、9月24日(水)、10月7日(火)

<学習日、その他>

11月18日(火)、12月16日(火)、1月20日(火)、2月26日(木)、3月22日(日)

## 3 陸水グループ参加者 6名

飯田 美智子	鵜飼 恭子	桑垣 寛
小池 春夫	大塚 光子	水沼 昇